

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月13日(火)

事務事業			深谷駅行政施設管理運営事業			担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44351	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務					
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷駅市民サービスセンター条例及び施行規則					
	小項目	1	良好な市街地・住環境形成の推進									
	主要プロジェクト											
事業概要			本事業は、ＪＲ深谷駅（ＪＲ管理部分は除く）の安全性を含めた駅施設の適切な管理を行うとともに、市民サービスセンターを設置し、施設管理及び市民等を対象に駅のギャラリーの貸し出しを行うものである。									
目的 ※何のために			市民の利便性及び文化の向上を図る。									
対象 ※誰・何を対象に			ギャラリー利用者及び駅利用者。									
手段 ※どのように			駅の修繕や補修点検業務等を行う。また、駅に市民サービスセンターを設置し、施設運営業務等を行う。									
成果 ※何を求めるか			安全かつ良好な施設を提供する。									
執行体制			■ 職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）									
事務事業を 構成する 予算事業			区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
			一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	深谷駅市民サービスセンター管理運営事業	2, 621, 048	
			一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	深谷駅施設管理運営事業	23, 673, 338	
本事業の 主な業務			・ 深谷駅市民サービスセンター管理運営						・			
			・ 深谷駅行政施設管理						・			
			・						・			
			・						・			
			・						・			
			・						・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・ エスカレーター修繕・ 管理業務委託（清掃、点検）	・ エスカレーター修繕・ 管理業務委託（清掃、点検）	・ エスカレーター修繕・ 管理業務委託（清掃、点検） ・ 深谷駅雨漏り改修工事及び北口トイレ改修設計業務			
事業費	予算（現額）	28, 547, 000	29, 132, 000	26, 380, 000	33, 431, 000		
	決算額	24, 298, 620	26, 294, 386	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	489, 800	0	842, 000	842, 000	
		一般財源	23, 808, 820	26, 294, 386	25, 538, 000	32, 589, 000	
人件費	従事職員数（人）	0. 73	0. 47	0. 63	0. 63		
	人件費相当試算※	5, 666, 198	3, 698, 692	5, 163, 724	5, 163, 724		
総事業費試算		29, 964, 818	29, 993, 078	31, 543, 724	38, 594, 724		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	市民サービスセンターの開放日	目標値	日	359.00						
		実績値	日	359.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市民サービスセンターの休館日は、12月29日～1月3日の6日間による。/実績による						
	実績値の算出式									
活動指標 2	施設の修繕件数	目標値	件							
		実績値	件	6.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			毎年、修繕件数が増減するために、目標値を設定できない。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 1	ギャラリーの利用者数	目標値	人	10,770.00						
		実績値	人	4,357.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			利用料の改定に伴い、平成25年度から目標値を1日30人×359日とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	施設管理上の事故	目標値	件	0.00						
		実績値	件	0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			施設利用者への安全を確保するため、目標値を0とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 3	施設管理上の苦情	目標値	件	0.00						
		実績値	件	0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			施設利用者へのサービスを向上するため、目標値を0とする。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 4	ギャラリーの稼働率	目標値	%	50.00						
		実績値	%	59.30						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			有効活用のため稼働率（利用日数／開放日）50%を目標とする。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和4年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったものの、令和元年度以来休館無く開放ができたことからこの評価としたい。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったこともあり、施設利用者は目標値の半分以下であったが、施設での事故や大きな苦情も無く、年間を通じ安定した運営ができた。また、ギャラリーの稼働率は目標値を上回ることができた。
評価者			市街地整備係長 荒谷 匠

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	市民サービスセンターの運営管理は業務委託で行っているものの、それ以外の駅舎管理は都市計画課職員が自前で行っており、非効率な部分が多い。今後、指定管理への移行等を含め、検討の余地がある。
評価者			市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	公共施設の適正配置として課題となっている、深谷駅行政施設市民サービスセンター並びにギャラリー1、2の今後の利活用について、これまでの調査結果を参考として新たな活用方法を検討していく。
達成状況及び その効果	施設の利活用施策としてトライアル・サウンディング事業を立案し、暫定事業者の募集を行ったところ、11事業者からの応募があった。令和5年度には10事業者に施設を暫定利用していただき、施設の使用感や集客性等、今後の施設利活用へ向けたデータ収集を行っていく。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷駅行政施設管理運営事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44351
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、ギャラリー利用者は前年度より増加した。また、懸案事項であるギャラリーの利活用に向け、トライアル・サウンディング事業を施策立案・実施し、課題の把握を行い今後の取り組みの検討を行った。</p> <p>駅舎行政施設については、年間を通じ大きな問題や事故も無く、適正な維持管理ができた。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	駅舎行政施設については、引き続き適正な維持管理に努めていく。 また、ギャラリーの利活用については、トライアル・サウンディング事業を実施し、多様な利活用を実現する上での課題を整理する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	駅舎行政施設については、引き続き適正な維持管理に努めていく。 ギャラリーの利活用については、令和5年度に実施したトライアル・サウンディング事業の結果を参考に、具体的取り組みについて調査・研究を行っていく。

8. 評価指標グラフ

